

# 全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

この報告書を作成中の7月、くしくも西日本一帯に平成年間で最大の洪水災害が発生しました。その規模は7月14日現在、全国で死者200人、避難者7,085人、住宅被害24,150棟と報じられています。政治の最大使命は、人の健康と命、財産を守ることを、改めて肝に銘じています。



平成29年6月県議会においての質問と提案



阿賀野市県事業要望箇所視察



## シャイでお茶目なホカリのホッコリ

## ちょっとイイ話

### 災害対策の「やさしい手」

阿賀野市を流れる安野川の改修事業に、帆苅さんが尽力したことは、よく知られています。しかし、対策が必要な川は、他にもたくさんあります。特に、近年は、市の名前の由来にもなっている阿賀野川の水位が上がり、地域に被害をもたらし、あと少しで大災害になります。そこで、この状況の中、帆苅さんは、国・県・市が連携して対策を講じることが重要と考えるとともに、ポンプによる排水を考慮し、関係機関の意見をとりまとめ、災害対策を確立したとか。でも、帆苅さん本人に聞いても、「そんなことあったかもしれない、無かつたかもしれない」とそつてない。皆さんのが知らない、「ちょっといい話」でした。

# ほかりけんじ これまでの 県政活動報告 第1号

ほかりけんじ事務所  
〒959-2221  
阿賀野市保田 737-2  
TEL: 68-5441  
FAX: 68-5515

私は、阿賀野市選出の県会議員として、新潟県・阿賀野市の皆さまの命と暮らしを守り、幸せと発展を求める県政活動に努力してまいりました。

実行政策としては、新潟県全体が政治的に安定し、かつ経済的に発展しなければ、県内の一自治体である阿賀野市がいくら努力しても限界があります。

「新潟県の発展なくして、阿賀野市の発展なし」が私の政治信条です。



ここに、これまでの28年に及ぶ政治活動(重点政策)をご報告いたします。

今後も皆さまからのご支援、ご意見をお聞かせ頂ければ幸いです。

### 重点政策

- 1 災害に強いまちづくり
- 2 地場の商工業・観光の振興、企業誘致などによる雇用の確保
- 3 農業の振興
- 4 医療・教育・福祉の充実・確保



① 災害に強い  
まちづくり



災害の状況(庄ヶ宮地内)



災害の状況(水ヶ曾根地内)

災害の状況(大野地地内)

### 事業の目的

阿賀野市は、昭和42年に羽越水害で尊い人命と財産を失い、平成7年、10年の豪雨でも大きな被害を受けました。

長年にわたり、豪雨の度に床上、床下浸水の被害を受ける市民にとって、抜本的な治水対策は悲願であり、その解消が目的です。

特に、安野川の改修は急務となっており、現在、整備が進められています。

# 県営安野川湛水防除事業（水害対策）



阿賀野川に直接排水する安野川(220m<sup>3</sup>/s)



大荒川の途中に設置された羽黒堰



市街地を流れる駒林川

## ■事業の現況

平成10年から県営湛水防除事業安野川地区として、90m<sup>3</sup>/sの流下能力を220m<sup>3</sup>/sに高める改修工事を進めています。現在、国道49号付近まで工事が進んでいます。

## ■事業の効果

工事の進捗により、流域の排水能力が高まり、浸水や湛水が解消されつつあります。最終的な工事の完了による災害防止効果が期待できます。

## ■県議の実績

平成3年に県議選初当選以来、治水対策、とりわけ安野川の改修が急務と考え、当時の南部郷4力町村長と共に、土木・農地事務所と度重なる協議を行うとともに、国・県に対し毎年強力に改修要望を繰り返した結果、農水省の湛水防除事業としての事業実施を実現しました。



古川護岸工事



## その他の水害対策事業実施力所

### 農地防災排水事業

塙田川下山屋排水路整備

### 河川整備事業

駒林川改修 七浦川改修 折居川改修  
大荒川改修 大通川改修 小里川改修  
※古川排水の確保



### 砂防事業

割石川通常砂防 中ノ川通常砂防  
安野川通常砂防 折居川通常砂防

### 工事箇所説明



割石川通常砂防事業力所図